

# 平成30年度 学校自己評価システムシート ( 県立八潮高等学校 )

目指す学校像	「清純 真摯」の校訓のもと、社会の中で力強く生きる力を育てる学校
--------	----------------------------------

重点目標	1 基礎学力の定着と向上を図り、より高い進路希望実現を目指す。 2 部活動への積極的な参加を促し、生徒の行動力・実践力を高める。 3 保護者・地域との連携を強化し、生徒募集の安定化を図る。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	3名
	事務員(教職員)	5名

年度目標		学校自己評価				年度評価(1月31日現在)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>○一昨年度学力向上委員会が発足し、昨年度から特伸クラスが発足した。特伸クラスと他の普通科クラス・体育コースの学力向上の具体的な成果を出していく必要がある。</p> <p>○一昨年度からスタートした特伸クラスにおいて学力向上の伸長と難関進路の実現の具体的な成果が必要である。</p>	<p>・生徒の基礎学力を定着・向上させる。</p> <p>・難関な進路希望(就職は事務系・公務員等、進学は中堅以上の大学・短大等)を増加させ、進路希望実現率100%を目指す。</p>	<p>①-1学力向上委員会や教育課程委員会、教科等で授業改善に向けた話し合いを推進する。①-2授業公開週間や研修会を通じて授業力の向上を図る。①-3未来を拓く『学び』プロジェクトに希望者を派遣し、授業改善のリーダーの育成とともに、校内へのフィードバック(報告会)を行う。</p> <p>②基礎学力向上と生徒の自己肯定感の育成のため、朝学習や読書指導等の指導を推進する。</p> <p>③資格取得指導を推進する。保護者アンケートの結果を踏まえ、受験機会の拡大や受験者数の増加を図り、生徒の主体的な学ぶ姿勢を育んでいく。</p>	<p>①授業改善の取組を推進することができたか。</p> <p>②月例調査や図書館利用の結果を検証し、表彰等を通じて生徒の自己肯定感を高めることができたか。</p> <p>③資格取得指導を推進することができたか。</p>	<p>①校内研修や、授業改善週間、さらに管理職による授業観察やそのフィードバックにより、授業改善が進んでいる。教員の授業支援や生徒の学習支援を目的とした学習ボランティアを2学期より導入した。</p> <p>②月例調査は学年により取り組みと内容に差が生じた。各学年の成果を学校全体で共有するため学年主任会や学力向上委員会で情報交換を行った。図書館利用は拡大傾向にあり、電子教材(県・市主催)への積極的な参加につながっている。図書館で過ごす生徒が着実に増えており、言語活動の充実を図ることができている。</p> <p>③資格取得の全校的な取り組みに至っておらず、拡大のための生徒への働きかけが不十分であった。漢字検定 準2級1/4名 3級6/14名 4級0/1名 英語検定 2級2/3名 準2級6/26名 3級9/37名</p>	B	<p>・授業規律確保のため足並みをそろえた指導が必要である。</p> <p>・教育課程委員会・学力向上委員会を検討の場として、学習の質を高める授業づくりについて検討していく。</p> <p>・朝学習の指導体制の確立と実施時間については引き続き検討していく。</p> <p>・家庭学習の定着は喫緊の課題であり、長期休業期間はもちろん、日々の家庭学習課題を生徒に指導していくことが重要である。全校挙げて、定着に向けた指導を推進する。</p> <p>・言語活動の充実のため、図書館の利用率を高めていく。</p> <p>・資格取得指導は全生徒を対象とした取り組みとなるように教科への指導を進めていく。</p>
2	<p>○近年は従来から活動顕著な運動部活動に加え、軽音楽部や書道部等の文化部が成果をあげてきている。こうした成果がすべての部活動に波及し、校内の活性化が図れるよう一層の改善が必要である。</p> <p>○生徒は落ち着いた生活をおくっているものの、繰り返し問題行動を起こす生徒への対応に苦慮している。家庭との協力体制や相談体制を充実させ、退学者を減らしていく必要がある。</p>	<p>・部活動のさらなる活性化を図る。</p> <p>・退学者数を減らす。</p>	<p>①生徒全員を部に所属・活動させる。運動部・文化部ともに、積極的に大会やコンクール等に出場し、活動の活性化を図る。</p> <p>②本校部活動と中学校の部活動との合同練習の促進を図る。</p>	<p>①②部活動の活性化が図られたか。</p>	<p>①②週3日以上活動ができていない部活動について活性化を進める観点から、活動の在り方について協議する必要がある。</p>	B	<p>・所要教員数に見合った部活動数に規模を改める必要がある。生徒のニーズと学校の伝統や今後の方向性を企画委員会で検討していく。</p>
3	<p>○平成30年度入試においては近隣5校で定員割れが発生する中、本校では定員を超える志願者を確保できた。学校説明会や入学生生のアンケート結果の検証を進め、本校への期待や要望の把握に努め、学校のPR活動に活かしていくことが課題である。</p> <p>○中学生や保護者に本校に体を運んでもらう機会(学校説明会や体験入学等、文化祭等の学校行事)を積極的に広報する必要がある。</p>	<p>・地域の信頼を得た生徒募集を実現させる。</p>	<p>①-1中高連携委員会を中心に学校説明会や体験入学等の生徒募集活動を展開する。①-2「学び直しから夢実現」のねらいや特伸クラス、進学クラス、教養クラス、体育コースについて出席者に理解しやすいプレゼンテーションを実施する。</p> <p>②-1管理職を含む全教職員による中学校訪問、2年生の母校訪問を実施し中学校に生徒の成長を実感してもらう。②-2本校の教育活動の成果を地域に理解してもらうため、HPの入試情報や部活動、学校行事等の更新頻度を高める。②-3塾訪問は継続実施する。訪問時に本校の評価や評判を伺い、今後の広報活動に活かしていく。</p>	<p>①学校説明会や体験入学会等の参加者から高い満足度を得ることができたか。</p> <p>②地元地域からの入学者の割合が6割を超えたか。</p>	<p>①プレゼンテーションや説明会の内容を毎回検証し、修正を加えつつ実施することができた。</p> <p>体験入学 生徒130名 保護者68名 文化祭 来場者634名 学校紹介 生徒52名 保護者34名 学校説明会 ①生徒47名 保護者39名 ②生徒78名 保護者78名 ③生徒53名 保護者41名 ④生徒41名 保護者31名</p> <p>②中学校への情報提供をより充実し、本校への興味関心を高める働きかけを進めていく。</p> <p>草加市 214名 八潮市 185名 他 162名 ※今年度在校生 ①②中学校運動会への陸上部派遣、メディアへの情報発信の促進(新聞16社ケーブルテレビ2社)、警察との連携による地域貢献の促進(防犯キャンペーン等)、草加警察署より表彰を受ける。(H31.2.8)</p>	B	<p>・今年度の特伸クラスの進路実績を広くPRし、高い進路意識を持つ生徒を集める必要がある。体育コース・特伸クラスそれぞれの強みを明示し地元地域からの入学者の確保に努める。</p> <p>・体育コースは授業やコース独自の行事などを編集した動画を作成し、地域の中学校に配布する。</p> <p>・小中学校へ体育コース生徒を派遣し、授業や新体力テストのお手伝い、部活動の合同練習などスポーツを通じての地域貢献に取り組む。</p>

学校関係者評価	実施日 平成31年1月30日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>・熱心で丁寧な取り組みがなされていると思う。学力向上のための取組が組織的・継続的なものとなるよう引き続き努力してほしい。同時に先生たちの働き方・負担軽減も検討する必要がある。</p> <p>・生徒の興味・関心を高める授業づくりを進めてほしい。2学期中に購入・整備したiPad15台の活用を期待している。</p> <p>・特伸クラスの成果は指導を重ねてきた先生方の努力の賜物である。成果のPRと継続した指導をお願いしたい。</p> <p>・生徒の学力に即した授業づくりを進めてほしい。生徒の意見では授業を退屈に感じることや早すぎるなど感じるなど授業改善の努力は道半ばと感じられる。生徒目線を意識した指導の推進を。</p> <p>・朝学習の充実や毎日の家庭学習、長期休業期間や大型連休期間の学習課題を課すなど自ら学ぶ力の育成を進め、生徒の学力向上を図ってほしい。</p> <p>・個別別学習と評価についてどのような意識・準備をしているか今後注目していきたい。</p> <p>・資格取得指導は全校的な取り組みとなるよう指導の充実を図ってもらいたい。スポーツ審判員の資格取得も進めてはどうか。</p> <p>・読書の推奨、読書指導の更なる充実を。</p>
・中学校では部活動の活動そのものが縮小傾向にある。体力的に劣る新入生に十分配慮して定着率を図ってほしい。指導法やコーチング技術を高め、活性化を図ってほしい。 <td> <p>・部活動が先生方の負担になっていることは十分理解している。身の丈に合った部活動数の検討が必要ではないか。</p> <p>・防止の観点に立った生徒指導の効果が現れたと思う。進路変更が減るよう引き続ききめ細かな指導をお願いしたい。</p> <p>・効率を意識した時間の使い方やトレーニング・指導法の研修を実施してはどうか。</p> </td>	<p>・部活動が先生方の負担になっていることは十分理解している。身の丈に合った部活動数の検討が必要ではないか。</p> <p>・防止の観点に立った生徒指導の効果が現れたと思う。進路変更が減るよう引き続ききめ細かな指導をお願いしたい。</p> <p>・効率を意識した時間の使い方やトレーニング・指導法の研修を実施してはどうか。</p>
・「八潮高校はどんな学校？」と聞かれると、「一度自分で行ってみてください。」と答えている。足を運んでもらえれば学校の魅力が伝わるはずなので、説明会や文化祭のPRに努めてほしい。 <td> <p>・体育コースや部活動で小中学校との交流を深める取り組みをしてはどうか。スポーツテストや練習のお手伝いなど生徒と児童の触れ合いから学校の魅力をアピールできるのではないかと。</p> <p>・地元小学校の教員たちの八潮高校への理解を深めることが大切と考える。交流の実現を進めてはどうか。</p> </td>	<p>・体育コースや部活動で小中学校との交流を深める取り組みをしてはどうか。スポーツテストや練習のお手伝いなど生徒と児童の触れ合いから学校の魅力をアピールできるのではないかと。</p> <p>・地元小学校の教員たちの八潮高校への理解を深めることが大切と考える。交流の実現を進めてはどうか。</p>